



暑中御見舞申し上げます
小浜市議会議員一同

議長に

松崎茂明氏



六月定例会市議会最終日において、岡本議長、山藤副議長より辞職願が提出され、これを受けて議会は直ちに後任正副議長の選挙を行なった結果議長に松崎茂明議員、副議長に山本肇議員が就任。



山本肇氏

副議長に

第二回定例会 (期 六月九日〜六月二十一日)

昭和六十三年第二回小浜市議会定例会が六月九日に招集され、昭和六十三年度小浜市一般会計補正予算を含む議案十件、報告七件、認定二件、陳情三件、意見書一件などの審査を行ない、陳情一件を不採択としたほかはいづれも原案のとおり可決、承認、採択をし、新たに正副議長の選出をして二十一日閉会した。

議案No	件名	提出	結果
報告1	昭和62年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について	市長	受理
報告2	昭和62年度小浜市下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について	市長	受理
報告3	昭和62年度小浜市南川地区土地区画整理事業特別会計予算繰越明許費の報告について	市長	受理
報告4	昭和62年度小浜市水道事業会計予算繰越の報告について	市長	受理
報告5	小浜市土地開発公社経営状況の報告について	市長	受理
報告6	小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について	市長	受理
報告7	財団法人小浜市公共施設管理公社経営状況の報告について	市長	受理
議案41	専決処分につき承認を求めることについて	市長	承認
議案42	(昭和62年度小浜市一般会計補正予算の専決処分について) 専決処分につき承認を求めることについて	市長	承認
議案43	(小浜市市税条例の一部改正について) 専決処分につき承認を求めることについて	市長	承認
議案44	(小浜市国民健康保険条例の一部改正について) 専決処分につき承認を求めることについて	市長	承認
認定1	昭和62年度小浜市国民宿舎及び小浜ユース・ホステル事業会計決算の認定について	市長	認定
議案45	昭和62年度小浜市水道事業会計決算の認定について	市長	認定
議案46	昭和63年度小浜市一般会計補正予算(第1号)	市長	原案可決
議案47	昭和62年度小浜市国民宿舎及び小浜ユース・ホステル事業会計決算にかかる剰余金の処分について	市長	採択
議案48	小浜市庁舎改築基金条例の廃止について	市長	採択
議案49	内外海漁港区域内の公有水面埋め立てについて	市長	採択
陳情1	内外海漁港区域内の公有水面埋め立てについて	市長	採択
陳情2	今富小学校の児童数増加に伴う教室の増築と関連する諸施設の整備拡充に関する陳情書	市長	採択
陳情3	福祉・教育予算増減、地方財政確立、国庫補助・負担率引き下げ廃止を求める陳情書	市長	採択
意見書50	大型間接税導入中止に関する陳情書 国庫補助・負担率の引下げ廃止を求める意見書について 固定資産評価審査委員会委員の選任について	市長	採択

項 目	補正額(千円)	予算総額(千円)
歳 入	384,234	10,524,792
負 担 金	16,750	290,927
国庫補助金	83,945	811,071
県補助金	117,500	1,465,041
財産売払収入	2,560	2,562
繰越金	160,864	160,865
雑 入	2,615	149,998
補正されなかった額		7,644,329
歳 出	384,234	10,524,792
総務管理費	109,102	805,506
水産業費	206,000	901,198
商 工 費	15,427	506,740
道路橋梁費	48,530	571,531
河 川 費	5,173	16,103
補正されなかった額		7,723,714

今回の補正は、当初予算の総額に歳入歳出それぞれ三億八、四二二万四千円を追加し、予算総額を一〇五億二、四七九万二千円とするものです。

一般会計補正予算(第1号)

主 な 議 案

小浜市総合卸売市場株式会社
経 営 状 況 報 告

総 収 益……………3,022万5,331円
 総 費 用……………3,074万6,091円
 当期損失金…………… 52万0,760円
 繰越損失金……………2,891万4,565円
 当期未処理損失金……………2,943万5,325円

取扱高実績	取扱品目	取扱数量(kg)	取扱金額(円)
青 果 部	野 菜	2,847,614.8	594,108,591
	果 実	1,150,464.5	279,786,283
	そ の 他	169,626.6	40,993,569
	計	4,167,705.9	914,888,443
水 産 部	生鮮魚介藻類	867,761.9	909,836,994
	冷凍魚介類	453,988.1	298,223,080
	塩 干 魚	100,895.9	108,252,600
	計	1,422,645.9	1,316,312,674

昭 和 62 年 度 報 告 ・ 決 算

小浜市国民宿舎及び
小浜ユース・ホテル事業会計決算

総 収 益…………… 1億4,854万9,457円
 総 費 用…………… 1億4,775万1,668円
 当期純利益…………… 79万7,789円
 繰越利益剰余金……………1,095万1,976円
 当期未処分利益剰余金……………1,174万9,765円

水 道 事 業 会 計 決 算

総 収 益…………… 2億1,485万1,707円
 総 費 用…………… 2億2,716万2,494円
 当期純損失……………1,231万0,787円
 繰越利益剰余金…………… 1億6,720万6,361円
 当期未処分利益剰余金… 1億5,489万5,574円

会期日程

六月 九日	本会議（議案上程、質疑）
一三日	議会運営委員会、全員協議会
一四日	本会議（一般質問）
一六日	建設・産業経済・教育民生常任委員会
二一日	総務常任委員会、議会運営委員会
二二日	総務常任委員会、議会運営委員会
	全員協議会
	本会議（委員長報告、採決）

各常任委員会審査報告

総務常任委員会

漁業集落環境整備事業、漁港改修事業、電源地域産業育成支援事業等は、その負担金補助金の内容により反対であるとの反対討論があつた。

特に附記すべき意見として庁舎隣接地取得に対し、従来地の地縁等に鑑み、特に早期着工を望む、との強い意見があつた。

建設常任委員会

河内ダム出資金の取り扱いについて、水道会計より支出

をしているが、その事業は本市としても大型プロジェクトのひとつとしてとらえ、一般会計で処理するのが適当ではないかという強い意見があつた。

道路新設改良に関連し、市道全般的道路パトロールの実施、工事執行のスピードアップについて、よく検討し、スムーズに実施してほしい、との意見があつた。

産業経済常任委員会

昭和62年度小浜市国民宿舍及び小浜ユース・ホテル事業会計決算の認定については、一応の健全経営は見られるが、

利用客については相対的に減少の傾向にあり、今後これらの増大を図るための創意工夫、さらには経営の合理化等サービスの上向上に努めるべきである、との意見があつた。

将来的な方向としては、両施設とも老朽化が進んでおり、時代の変化に対応できる抜本的な手段を合わせて考えていく必要がある、との審査内容であつた。

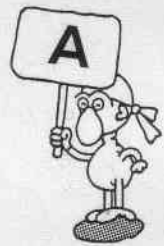
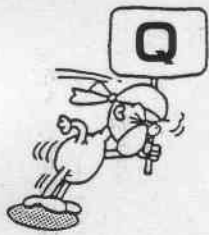
水産業費の補正につき、事業費から見ると、当初の原形予算が過小に見積られている点について討議があつた。

特にこれらの計画決定に基づく事業に関しては、当初予算においてその大方の措置をすべきである、との意見があつた。

教育民生常任委員会

陳情第一号、今富小学校の児童数増加に伴う教室の増築と関連する諸施設の整備拡充に関する陳情書について、全委員にて現場視察も含め審議した結果、全員異議なく採択すべきものと決した。

一般質問



六月定例市議会二日目の十三日に一般質問が行なわれ、四名の議員が農業、商工、教育、大学問題等について市当局の姿勢を問いただした。
〔質問と答弁の要旨は次のとおり〕

農業

質問

食糧管理法に基づき、ここ数十年の間日本の食糧を支えてきた農業は近年危機的な要素を持ち、今日の厳しい諸情勢の中でやはり適地適産主義が必要であり、各地方、各自治体はそれぞれのアイデアを凝した農業施策を打ち出しているが、当市としてもコシヒカリを中心とした水田農業をどう有意義に生かし、どう守るのか今後の施策をお聞きしたい。

答弁

本市においては水稲単作地帯という長い歴史がある中で、転作面積の拡大が農家所得の減少に結びつき、稲作技術の進歩が兼業化への移行を促進し、機械への過剰投資及び労働力投下の制限となつている現状から、脱皮して農業を産業として確立させる必要が行政として必要であろうと考える。

これに関連した問題として、米の消費拡大運動の一環としてセンベイを五袋一九〇〇円で各農家へ配布し非常に大きな不評を買っており、これを実行するにあたり各地区の農家組合長さんが大変苦勞をされたと聞いているが。

具体的には、稲を基幹作物として集落単位の農地を対象に地域営農計画を樹立し、中核農家を中心とした集落内生産組織の専業、兼業、高齢者グループといった分業化を進めるとともに、ハード面においては新農業構造改善事業、農業生産体質強化総合推進対策事業、水田農業確立対策案件整備事業等により必要な施策の整備を図っていききたい。また現在大きな問題となつている米需給均衡化緊急対策